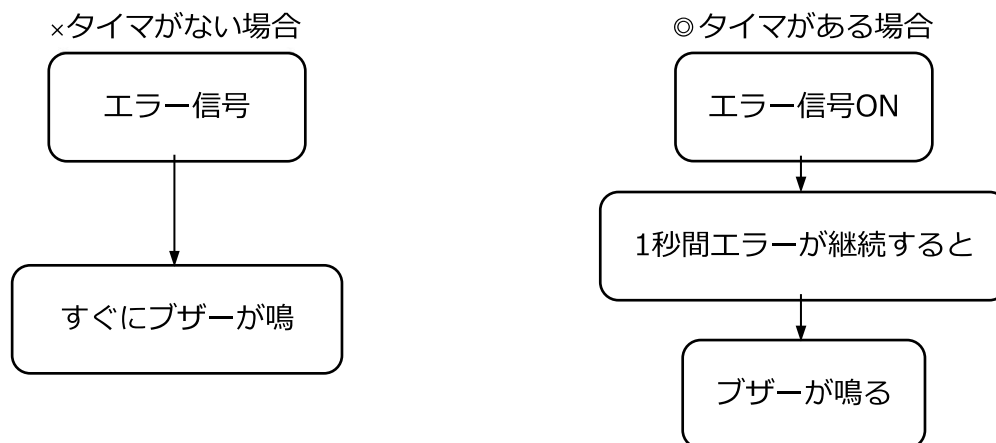


2.15. オンディレイタイマによる制御

では、実際にタイマを使用した制御を紹介します。

オンディレイタイマ（On Delay Timer） ……次の動作（作業）を遅らせてONさせるタイマ
ONを遅らせる

例えば、エラー出力で考えてみましょう。



タイマがないと、エラー信号がチャタリングをおこしたとき、短い周期でブザーが頻繁に鳴ります。

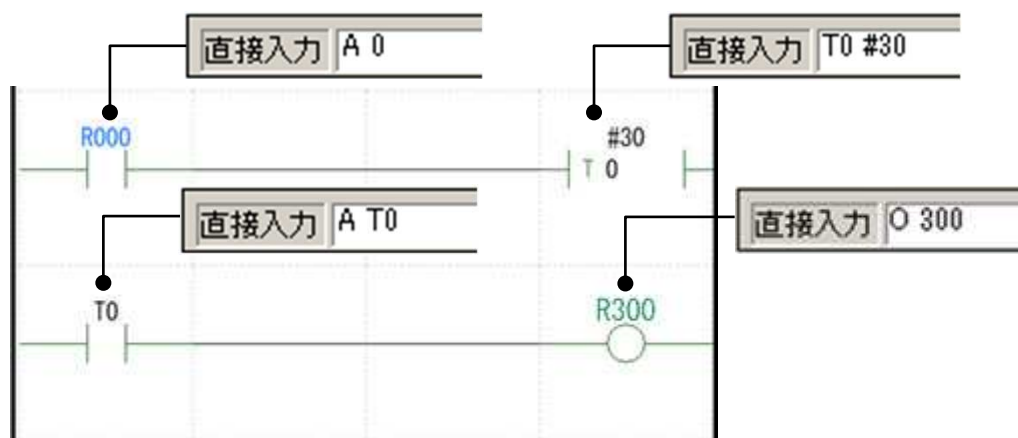
タイマがあると、エラー信号を確実に検出してからブザーが鳴り、誤動作を防ぎます。

ラダープログラムを作成して実際に動作を確認してみましょう。

■ 例題10：オンディレイタイマのプログラム

スイッチR000をONすると、3秒後にランプR300がONします。

スイッチR000をOFFすると、ランプR300がすぐにOFFします。

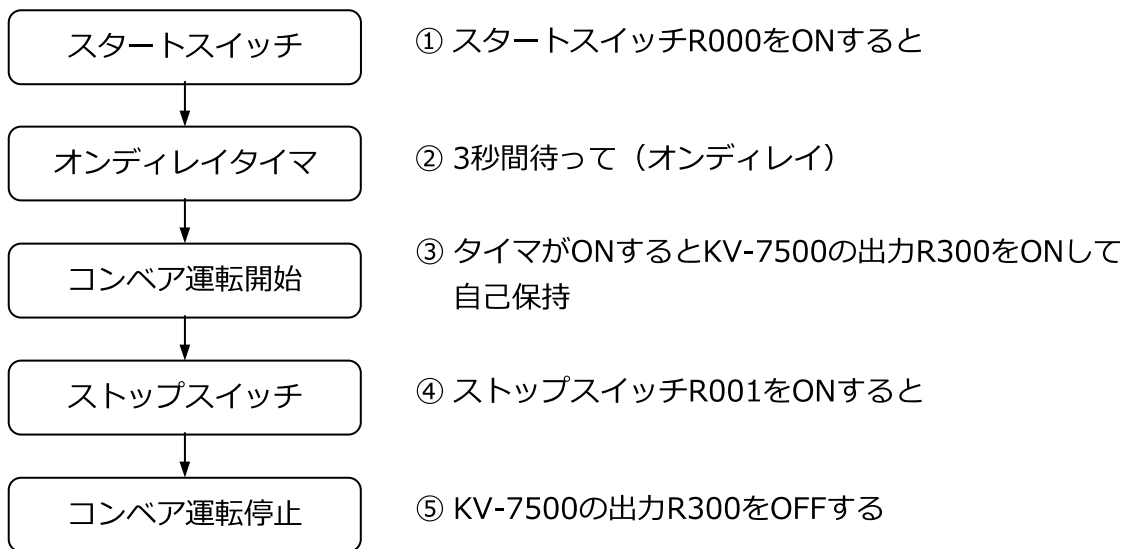


プログラムの入力終了したら、プログラムを転送して、動作確認してください。

2.16. オンディレイタイマの応用

それではKV-7500のタイマを応用した制御を考えましょう。
オンディレイタイマと自己保持を組み合わせた制御を考えます。

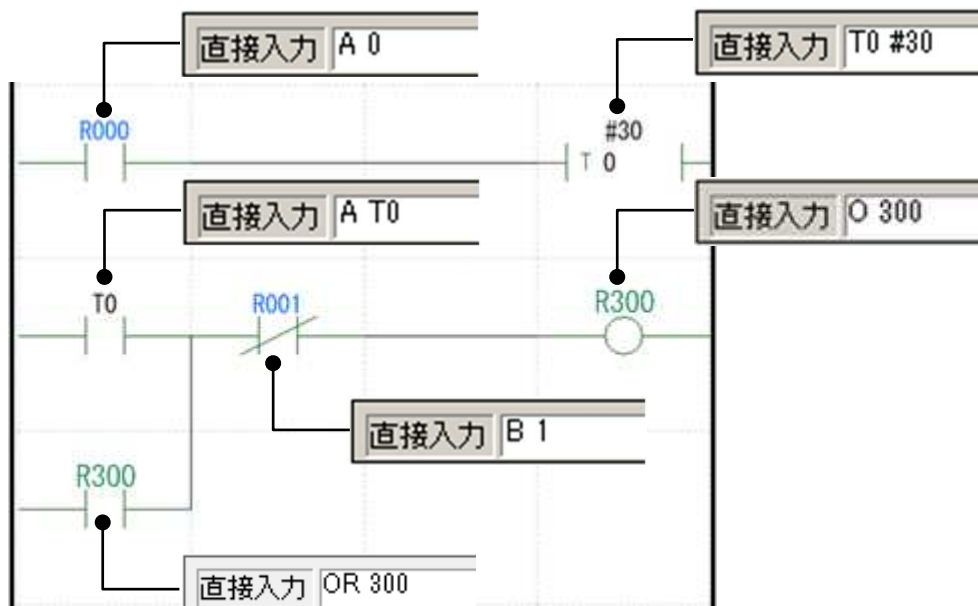
コンベアの動作を例に考えてみましょう。



ラダープログラムを作成して実際に動作を確認してみましょう。

ラダープログラムの入力、行削除で今まで書いたプログラムを削除してからおこなってください。

■ 例題11：オンディレイタイマと自己保持回路を組み合わせたプログラム



プログラムの入力が終了したら、プログラムを転送して、動作確認してください。